

No. 1505

初の東京国際映画祭

日本で初の東京国際映画祭が5月31日から6月9日までヤングの街渋谷を中心に開られました。

渋谷駅前にも世界のスターの似顔が並べられハチ公も顔負けの様子。

世界の40ヶ国、137本の映画が上映され10万人を超す映画ファンが集まり来年以降も開催される見通しが立ったようです。

ホテルのパーティーには世界から集まったスターが華やかに登場。

日本のスターもきもの姿で美しさを競いあっていました。中曽根首相も得意の語学でジャンヌ・モロー、ジェームス・スチュアートと話し合うなど映画祭を盛り上げていました。

ジャパン・デー

— 科学万博・つくば —

科学万博も開場以来まもなく3ヶ月。

梅雨の季節を迎えたとはいえ万博会場の人気パビリオンは相変わらず行列がつづいています。

6月9日には日本政府出展テーマ館の入場者が200万人を超えました。幸運な入場者は地元の小学校3年生根本たか子さんと記念品を贈られてニコリ。

一方、科学万博をもっと楽しいものにしようと民間パビリオンのコンパニオン達が協力してバンド演奏、写真撮影会などを積極的に始めて入場者に喜ばれています。

6月10日は「日本の日」ジャパン・デー。

エキスポプラザに科学万博名誉会長の中曽根首相を始め外国政府代表ら約3,000人が出席。中曽根首相は「残された会期中、科学技術を通じて世界の国々の相互理解を深める場にしたい」とあいさつ。

科学万博もすでに800万人を超す人達が訪れ目標の2000万人突破は確実とか。科学技術を通して21世紀への夢を大きくふくらましたいものです。